

シグマ研究委員会崩壊熱評価WG，サブグループ会合議事録

日 時 昭和53年9月28日 13：30－17：30

9月29日 9：30－17：30

場 所 原研，東海研，研究2棟304号室

出席者 山本 徹（東北大） 吉田 正（NAIG） 松本純一郎（原研）
中嶋龍三（法政大）

報告事項及び議事

1. データ収集評価の進行状況

A = 66 から 172 までのうち，未終了は A = 85，93 から 99 まで，117，163，166 の 11 A-chains。このうち 93 から 99 までは村田氏担当。

2. インプット・データの記入

アルバイトの人がきまらず遅れていたが，1週間前に依頼した。完全なものを要求するのは無理なので，こちらでかなりの部分を記入する必要がある。さし当り松本氏が担当することにした。

3. 処理コードPROFPDの修正について

前回以後指摘されていた2，3の問題点は修正を終了した。

今回は，ベータ・プラスと電子捕獲データの処理及び誤差評価の問題を議論した。

i) 強度はベータ・プラスだけを記入し，電子捕獲の強度は記入しない。消滅ガンマを計算して，ガンマ線の方に記入する必要がある。

第1回目のPROFPD計算では，消滅ガンマの計算が間に合わないので，ベータ・プラスはスキップするように，コードを修正する。

ii) 誤差評価については，特に計算で求めたQを使う場合は20%誤差を与えて，それを指示するようにコードを修正する。

iii) スペクトルの計算結果は、プリント・アウト以外に磁気テープに入れて、
要求に応じ配布できるようにする。

iv) スペクトルの誤差計算は今後更に検討を続けることにする。

以上の議論に基づき PROFPD の修正、インプット・マニュアルの作成、イン
プット・シートの整備、及び残り A-chain のデータ評価を行った。